

我が家の家計簿

ズバット!

診断

マイホーム
購入検討中

老後のためのマイホーム。
少ない貯蓄でも買えるの!?

Q 老後が心配です…

最近、ふと自分の将来の事を考えると不安な気持ちになってきました。今は、賃貸マンションで一人暮らしをしていますが、この先結婚の予定もありませんので、マンションを購入し退職までにローンを完済して、老後の出費を抑えた方が良いのかなと思っています。

予算(住宅ローン)は、今の家賃より多くならない程度で出来たらいいなと考えています。また、今のうちから老後資金の準備もしていきたいです。

しかし、今まで自由気ままに過ごしてきたので、貯蓄はほとんどありません。収入に関しては、今後ともほぼ変わらないと思います。今回を機に、真剣に自分の将来を考え、生活を改めていきたいと思っています。

この先、どのようにやりくりをしなければよいのかアドバイスをお願いします。

マンション購入を検討中

門司区在住 Yさん
44歳 男性会社員

月間収入		【年間収入】	
手取	230,000円	賞与	500,000円
計	230,000円	計	500,000円
月間支出		【現在の貯蓄】	
家賃(共益費込)	60,000円	預貯金残高	50,000円
駐車場代	8,000円	計	50,000円
水道光熱費	9,000円		
食費	60,000円		
通信費(電話代等)	13,000円		
交通費(ガソリン)	14,000円		
日用品代	5,000円		
洋服代・美容	15,000円		
医療・健康	10,000円		
趣味・習い事	10,000円		
交際費	40,000円		
生命保険	8,000円		
自動車保険	4,000円		
計	256,000円	【年間支出】	
		冠婚葬祭費	150,000円
		自動車税	39,500円
		火災保険	9,000円
		計	198,500円

A まずはライフデザインです!

今回、Yさんからご相談頂きました。老後の生活設計についてですが、独身者既婚者に関係なく関心のある方が多いのではないのでしょうか。


老後の生活設計には沢山の課題があります。住む所をどうするかという事は大きな位置を占める問題のひとつです。単純に家賃がもつたないからとか、住宅費を軽減したいからというような考えだけで購入してしまうと非常に危険です。

住宅購入を検討していくに際しては、まずは老後どのような生活をしたのか「ライフデザイン」を考えてみて下さい。田舎暮らしにしろ、都会暮らしにしろ、「どこで」「だれと」「何をしたいのか」というビジョンをしっかりと持った上で、必要な準備、あらゆるメリット・デメリットを考えておかなければなりません。

例えば、もしご結婚された場合、学区区というのとはとても重要で、学区が悪いと奥様から「引越したい!」と言われ、物件を賃貸に出そうにも広さの割には低い家賃しか頂けない場合があります。購入されるなら、利便性も校区も良い!そんな物件を強くお勧めします。

今後の生活設計に關しましては、まずは家計の管理をきちんとしていきたいでしょう。現在は、ご自身でも自覚されている通り、無駄遣いが多いようです。毎月の赤字を無くす努力が必要です。独身男性は、食費や交際費が高くなる傾向があります。Yさんは、その2つの費目を足すと10万円の支出になっています。そこを7万円に減らす事で、毎月の赤字を解消できますね。毎日とは言いませんが、1週間のうちの何日は自炊してみても如何でしょうか。新しい発見や、色んな気づきがあつて楽しいですよ。

また、ボーナスは、毎月の赤字



(株)インシュアランスバンク
ライフプランナー

新谷 隆道

プロフィール
1974年7月16日生まれ A型
外資系保険会社に約9年勤務後、現在は総合保険代理店に勤務。豊富な人脈から、全ての相談に即時対応出来る、独自の専門家スキームを組んでいる。温かな人柄で、常にお客様の立場に立ち、一緒に作り上げるライフプランニングにファンも多い。

メールアドレス: info@i-bank.jp

補填に使うのではなく、やむを得ない出費以外は、全額貯蓄するようにして下さい。会社に財形制度があるなら、それを利用して先取り貯蓄をしていきましょう。なければ、銀行等の自動積立定期預金でも良いでしょう。

貯蓄は目標を立てる事が大事です。頭金も必要なので、まずは100万円貯めてみましょう。ただし、頑張り過ぎると長続きしませんので、息抜きもしながらメリハリをつけて楽しく貯蓄して下さいね。



自炊をして食費を節約しよう!